

《高齢者等施設の代表者の皆様へ》

# 施設にウイルスを 持ち込まない、広げないために

新型コロナウイルス感染症は、  
気づきにくく、見つけにくい感染症です!!

- 症状だけでは新型コロナと風邪との区別はつきません。
- 発症の2日前から人に感染させると言われています。

**症状の出始めの初期対応が最も重要**です!!

- 無症状感染者でも他の人に感染させることがあります。



## 《施設責任者の皆さんへお願い》

- ①職員の皆さんが**率先して感染リスクが高い行動は控える**ように心がけ、施設に**持ち込まない**ようにしましょう。
- ②毎日、利用者・職員の検温に加え、健康確認（咳、喉の痛み、倦怠感等の有無）を行い、**体調不良者を早期に見つけ、感染を広げない**ようにしましょう。
- ③症状のある利用者・職員は**早めに医療機関を受診（診察）**をしましょう。
- ④職員は、軽くても**症状があれば、仕事は休んでもら**いましょう。体調不良の職員が**休みやすい体制や雰囲気をつくり**ましょう。

松山市

# 新型コロナウイルス感染症の症状や重症化リスク

## 新型コロナウイルス感染症にみられる症状は？

ウイルスが侵入し感染



風邪のような症状（軽症が多い）



発熱、鼻水、くしゃみ  
せき、頭痛、関節痛  
倦怠感、のどの痛み  
味覚嗅覚の異常、下痢

重症化すると…



肺炎、  
呼吸困難

## 重症化しやすいのはどんな人？

- 65歳以上の高齢者（特にワクチンを接種していない高齢者は要注意）
- 基礎疾患のある人（悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、2型糖尿病、高血圧、脂質異常、心疾患、脳血管障害、免疫不全など）
- 妊娠後期の人      ○ 肥満の人      ○ 喫煙者

【ワクチンの効果について】

新型コロナワクチンの接種者は、ワクチン未接種者に比べて、**感染した場合に重症化しにくく、周囲にも感染を広げにくい**と言われています。基礎疾患と併せて**接種歴を確認**しておきましょう。

## これだけはやってほしい施設等での感染対策

### マスク着用の徹底

- ・マスクは鼻と口を覆って正しく着用し、マスクを外した時は会話を控えましょう。
- ・利用者が自室から出る場合は、できる限りマスクの着用を促しましょう。



【作り方】

（家庭用ハイターやブリーチ使用の場合）  
ペットボトルに500mlの水と  
キャップ1杯の製品を入れる。



### こまめに換気

- ・空気の通り道を確保しましょう。（2方向から空気の出入れを）
- ・30分に1回は空気の入替えをしましょう。



### 施設の消毒

- ・70%以上のアルコールや0.05%以上次亜塩素酸ナトリウム溶液をペーパータオル等に染み込ませ、ふき取り消毒を行いましょう。



※次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムは違うものです。

### こまめに手洗い

- ・食事の前には手を洗いましょう。
- ・水と石けんを使ってしっかり洗いましょう。
- ・手が洗えない時は、70%以上のアルコールで消毒しましょう。



【よく触れるところの例】

食事前後の机やイス、ドアノブ、手すり、スイッチ、蛇口、リハビリ用具等

※調整した溶液は1日で使い切りましょう。  
※空間噴霧は推奨されていません。

# 注意

これまでの事例で分かった感染経路（推定）やリスクの高い行為や場面です。職員みんなで話し合い、感染リスクの高い行動は控えましょう。

## リスクの高い行為・場面

### 食事

食事はマスクを一番長く外します  
食事の場所を限定し、間隔をあけて  
対面は避けて、黙食で

- 食事前後は机を消毒する。
- 食事の場所は決めている。
- 人と人の距離を十分にとる。
- 対面で食事をする場合はパーテーションなどを設置する



※利用者と職員が一緒に食事をするのはさげましょう。

### 送迎

送迎は長時間にならないように換気を行い、余裕がある場合は、対角にすわりましょう。

- 長時間にならないルートにする。
- 人と人の距離を十分にとる。
- マスクの着用し、しゃべらない。
- 換気は十分に、2方向の窓は開けて行く。



### 介護・看護時



口や鼻に触れた物は感染リスクがあることを忘れずに！！  
ワンケアごとに手指消毒を

- 出勤時に服は着替えるか、着替えない場合はガウンを着用して身体介護を行う。
- 利用者と対面での接触をさける。顔を近づけない。
- マスク・手洗い・手指消毒・施設内の消毒・換気等の感染防御を徹底する。（入浴介助でも注意する）
- 感染者、感染の疑いがある者、濃厚接触者を個室対応する。
- 排泄物やゴミの処理などは手袋、マスクを着用して慎重に行う。
- 介護する人が変わる毎に手洗い又は手指消毒する。
- ガウンや手袋を使い回ししない。



※平常時から必要な物品を準備しておきましょう。

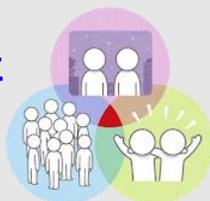
不織布マスク、N95マスク、ガウン、手袋、フェースシールド、ヘアーキャップ

## 職員さんに気をつけてほしいこと

### 更衣室・休憩室・喫煙所

コミュニケーションの場では話をしてしまいがち  
人数制限と換気を忘れずに

- 換気はできているか
- 人数制限はしているか
- マスクを外す時に話をしていないか（喫煙時や休憩時の飲食には特に注意）
- ロッカーも定期的に消毒を



### プライベートの過ごし方

プライベートや長時間の飲み会は感染対策の意識は低く、会話の声は大きくなりがちに

- 普段、会わない人と会食をしてないか
- 少人数かつ短時間での飲食が守られているか
- 食事以外の時はマスクを着用しているか



# 利用者や職員に感染者が発生した時の対応

## 高齢者施設等



### 感染者発生

- 感染者と他の利用者の接触を制限し、個室で対応する。
- 感染者のケアを行う職員は、可能な限り固定する。

保健所調査の担当者(窓口)を決めてください。

感染者以外に体調不良者がいる場合も同じ対応!!

保健所の調査に協力  
介護保険課等に報告

### ● 体調確認、施設の消毒、ゾーニング

- 利用者や職員の健康状況確認
- 施設の消毒実施



### ● 必要資料の送付

- 事業所の見取り図、
- 利用者名簿
- 職員名簿
- 勤務体制表
- 利用者の介護・看護記録
- 面会簿
- 外部業者の出入状況
- 陽性者の行動歴

### ● 検査対象者(健康記録表、利用者、職員)のリスト作成

【必要な情報】  
氏名、フリガナ、生年月日、性別、住所、  
連絡先、基礎疾患の有無、ワクチン接種有無  
(職員) 職種  
(利用者) 要介護度、家族の連絡先

### ● PCR検査への協力

施設で検査をする場合は、検査時の誘導や結果の連絡をお願いします。



## 松山市保健所



### ● 保健所の調査等

基本的には電話で調査します。  
必要に応じて施設に伺う場合もあります。

### (調査内容)

- 施設の規模(利用者数、職員数)
- 体調不良者の有無
- 利用者の介護・看護内容
- イベントやリハビリの参加記録
- 昼食時の配席
- 外部との接触状況  
利用者の場合: 他の福祉サービス利用など
- 日頃から行っている感染対策

### (感染対策の助言)

- 施設の消毒方法、ゾーニング

### ● 検査対象者、濃厚接触者の範囲を決定

### ● 検査対象者リストの受け取り



### ● PCR検査の案内

施設内の感染の広がりについて保健所の調査が終わるまでは、外部サービスの利用自粛や利用者・職員の行動自粛をお願いします。調査結果によっては自粛の継続をお願いする場合があります。



# 松山市保健所

松山市ホームページ  
「コロナウイルス感染症  
に関する情報について」

TEL:089-911-1815 FAX:089-923-6062  
メール: hokenyobou@city.matsuyama.ehime.jp

